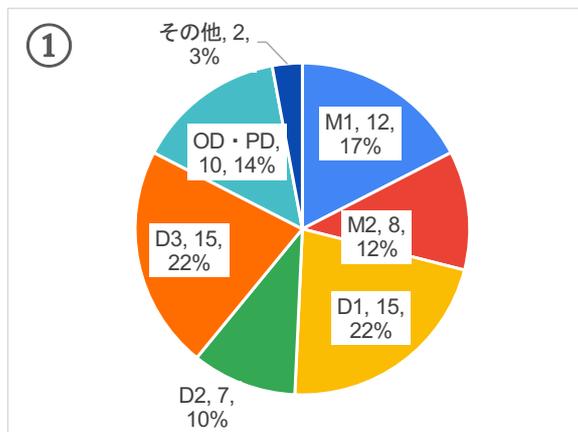


大学院生のための教育実践講座 2021 報告書（「京都大学のFD」公開用）

1 事前申込者数／当日参加者数と事前アンケート結果

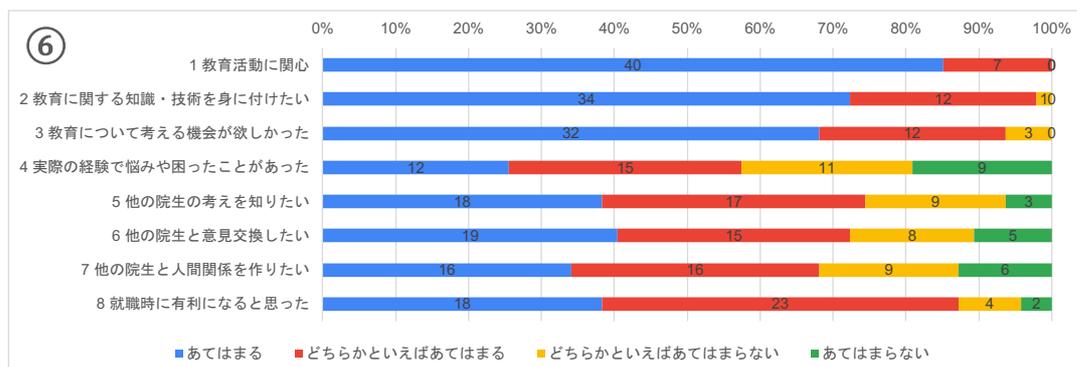
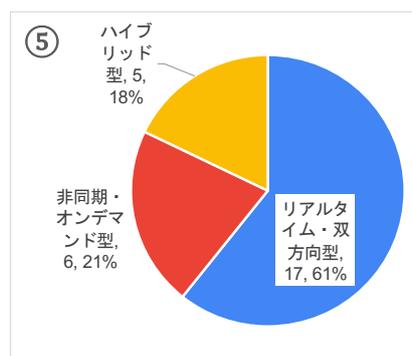
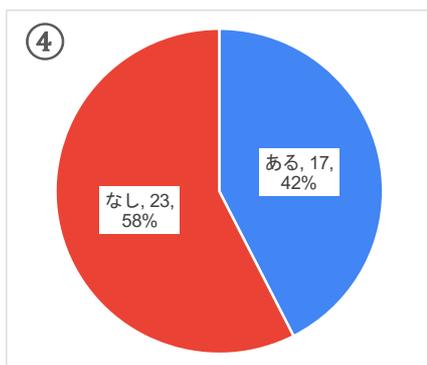
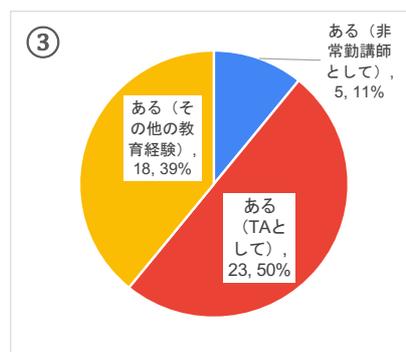
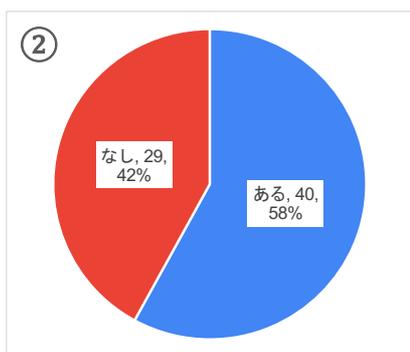
(1) 事前申込者数：69名／当日参加者数：54名（内 日本部会：37名／英語部会：17名）

(2) 事前アンケートの結果（事前申込者69名分の回答を整理）

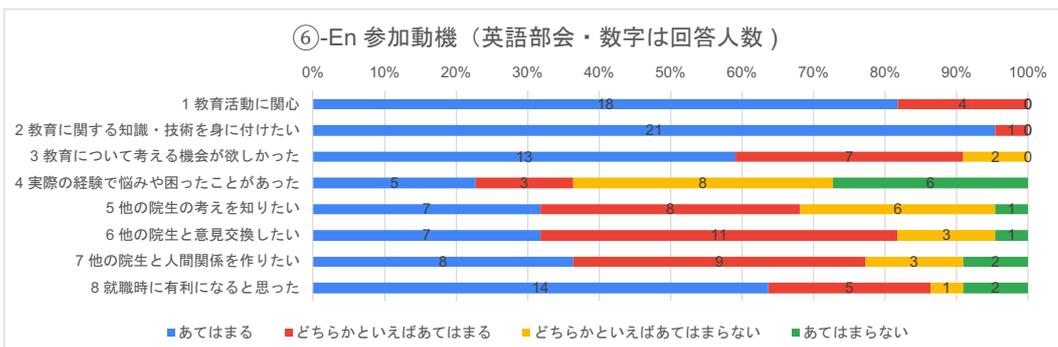
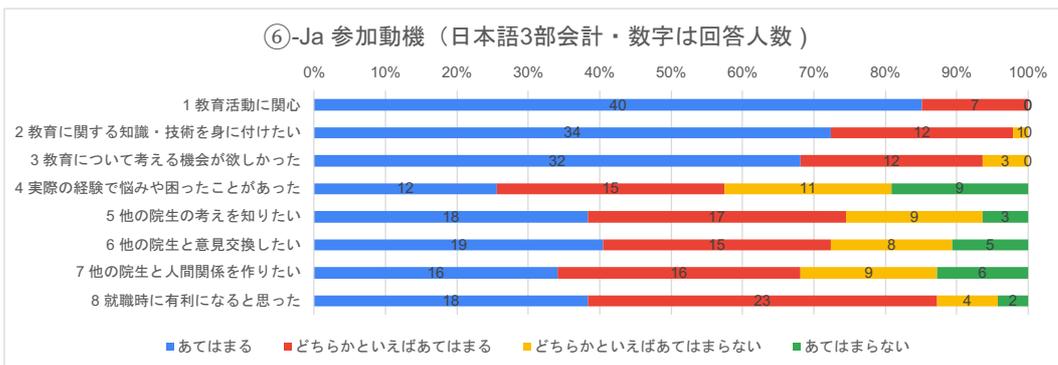
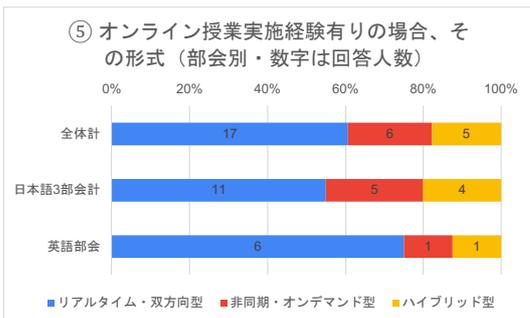
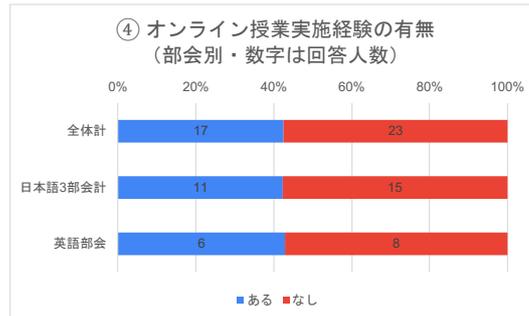
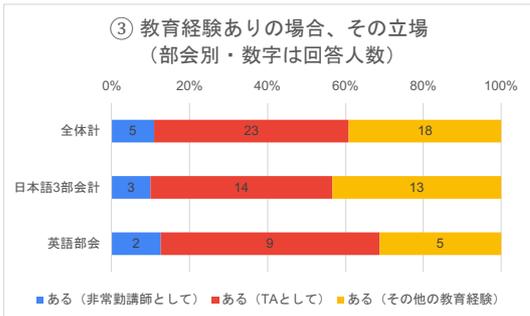
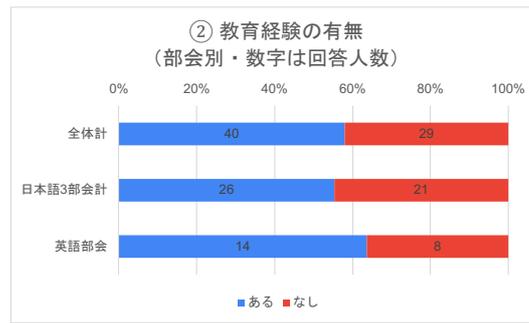
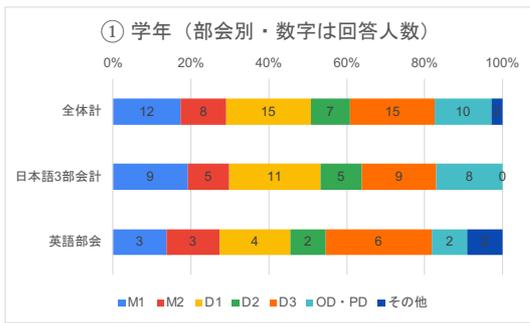


グラフタイトル

- ① 学年
- ② 教育経験の有無
- ③ 教育経験有りの場合、その立場
- ④ オンライン授業実施経験の有無
- ⑤ オンライン授業実施経験有りの場合、その形式
- ⑥ 参加動機



(3) 参考：日英部会別 参加者属性・参加動機・経験



2 当日参加者数と事後アンケート結果

当日参加者数：54名（オブザーバー参加4名含）

事後アンケートの結果（回答者数：50／回答率：92％）について

Q.2 満足度 全体：4.5（昨年から -0.3）

（参考）過去5年間の満足度・有意義度（Q.4）の平均の推移

	回答者数	1：全体	2：ミニ講義1	3：CD	4：ミニ講義2	5：グループ討論	6：発表／ラップアップ
2016	—	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2	—
2017	20	4.8	4.9	4.7	4.7	4.6	—
2018	27	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7
2019	32	4.6	4.6	4.8	3.9	4.5	4.6
2020	47	4.8	4.5	-	4.6	4.6	4.4
2021	50	4.5	4.2	-	4.3	4.6	4.0
内 Ja	36	4.46	4.5	-	4.5	4.6	3.9
En	14	4.53	3.7	-	4.1	4.6	4.1

※「1：全体」は満足度を「2：ミニ講義1」～「6：発表」までは有意義度を5件法で聞いている
 ※「CD」は「コミュニケーションデザイン」の略
 ※「6」について、2017～2019年度はポスター発表の形式、2020年度はオンライン上での発表・討論、2021年度はシグソー法によるラップアップ

Q.3 満足度の理由に関する回答の一覧（自由記述、回答数：50）

1	ディスカッションの時間がしっかりととられており、主体的に参加することができた
2	議論により、アクティブラーニングの理解が深まりましたし、今後の自分の授業にも活かせるようなアイデアをたくさん得ることができました。またミニ講義も大変面白かったのですが、少し時間が短く感じられ、もう少しじっくり聞いてみたかったと思いました。
3	アクティブラーニングに関して様々な考え方があり、理解が深まった。
4	初めて会う人と生産的な意見交換ができた。質疑応答の時間がもう少し欲しかった。
5	大学の授業がどうやって作られているのを知ることができたから。
6	グループワークをたくさん時間できたから。
7	ディスカッションや発表の時間が多く設けられ、主体的に学ぶことができた。普段はあまり話す機会のない分野の人と話し合うことで、刺激を受け、視野を広げることができた。
8	最後のラップアップの段階でのグループワークのつくりが雑過ぎる。突然言葉を混ぜられても、共有がうまくいかない。
9	他の部会の話も聞きたかった。行ったり来たり、大変でした。
10	基本的に満足しているが、全体の流れがより明確だとわかりやすかったです。
11	議論を通じて考えが深まった。大学教育の現状を知り、自身が教員を目指す上で必要なことが分かった。
12	普段あまり大学での教育やアクティブラーニングについて学んだり考えたりする機会を持っていないだったので、非常に有意義でした。
13	分野が異なる人と、アクティブラーニングに関して議論できたのが楽しく、これまでの経験もそれぞれ異なるので、いろんな視点を学ぶことができた。また、そこで議論したことはラップアップの時間で別の部会の人にも議論していたと知り、情報交換できたのも学びになった。
14	it was nice to discuss but it could of been a more depth content
15	もっといろんな教育系の方と交流したいです。
16	全体講義、部会、どちらも学びがあったので
17	ミニ講義があったことで大学教育の現状を理解しやすくなった
18	ディスカッションの時間が多く確保されていたから。
19	グループワークは考えを広げる機会となった。しかしオンライン上ではやりにくさがあり、疲れる。
20	研究浸りでの教育機会についてこれまで考えることが無かったので、大変刺激を受けた。特に最後のラップアップでは半強制的に英語で話す羽目になったのでよいトレーニングになった。
21	自分の興味関心についての話がたくさんできて、そして他の大学教員を目指す仲間同士との交流が深まって、多様なアイデアに触れることができたと思います。
22	（良い点）このようなテーマで真剣に議論する機会が貴重だったから。また、普段とは異なるコミュニティの人と議論することができたから。（至らない点）十分に議論を深められる時間がなかった。
23	田中先生の哲学講義の事例が大変おもしろく、刺激的だったから。ぜひYou Tubeなどに授業の様子をアップロードして公開いただきたいと思いました。
24	授業デザインについて多くのことを学ぶことが出来た
25	活発なディスカッションができました
26	他専攻の方と一つのことを協力して作り上げられたから
27	深い議論ができた。
28	質疑の時間等が短めで、コメント等にうまくフィードバックをもらうのが難しいと感じたため。
29	空間設計の魅力を感じることができた
30	あらたな視点からの意見を多く取り入れることができたから
31	予想していたよりも知らない発見は多く、この会自体が、面白い授業の参考例となるものだった。
32	事情で最後の方のみの参加となったため
33	予想外の領域の講座をデザインすることができ、客観的な視点で勉強になりました。
34	全く他分野の院生や留学生と出会い、短い間で深い次元まで話ができ、大変よかったです。また、話の中で色々具体例が現れていて、伝わりやすかったです。
35	授業デザイン部会を選びました。まさに自分が今知りたかったこと・これから役立つデザインの方法を学ぶことができたから。また、他の部会がどのようなまとめだったのかを知ることもできて、たくさん学びがありました。
36	少し進行が遅い感じがしました
37	1. コースの組み立て方について、理解が深まりました。2. ディスカッションから、大学生（留学生、国内学生）に対する相対的な視点が得られて面白かったです。
38	Half the course was in Japanese
39	Overall, the course was helpful for introducing me to some concepts and ideas, as I have no experience doing so.
40	learnt something interesting, but the session is too long
41	Good program to impart right attitude and knowledge to future faculty.
42	I have learned a lot from the workshop. The lectures was kind and supportive.
43	The course is well managed however, as a foreigner I expect more discussion on job market in Japanese academia
44	The course matched my expectations
45	Thank you for offering a section in English. Although the opening part is still in Japanese, the translated slides was really helpful for those with basic Japanese.
46	I am very happy to have attended the course and learn some new ideas for teaching, especially for Japanese students at the university level. I do not have experience of teaching as a professor at university level, but when I graduate from my PhD I hope that I can secure a teaching position in my field, in the future.
47	I learned about a lot of things that I didn't know/think about before. Overall, the course was very edifying.
48	The workshop gave me a perspective of lecturer for the first time.
49	Got the opportunity to learn about different aspects of teaching at the University level. For example assessment methods. Learned how to approach Japanese students in teaching a subject.
50	The lecture and materials of the presentation in general and break out group was very interesting, informative and educative.

- (+) ディスカッションを通じて考えを深めることができた／普段接する機会のない人と話し合うことで視野が広がった／(英) 講義が親切で supportive だった (#42) / (英) スライド日英併記は助かった (#45)
- (-) 時間が足りなかった (ディスカッション・質疑応答) / 全体の流れがもう少しわかると良かった (#10) / ラップアップの仕立て (特に言語面) (#8) ⇔ 半強制的に英語で話すことでトレーニングになった (#20)

Q. 5 大学教育への問題意識／対応策の考えの、変化に関する回答の一覧 (自由記述)

	Q5. 本講座を通して、あなたの大学教育に関する問題意識やそれへの対応策の考えは変化しましたか。もし変化したのであれば、どのような変化があったのかお書きください。
1	特になし
2	薬学研究科にいたるだけでは出会えなかった、授業に対して高い意識を持つ方々と話ができ、こういうふうには授業を進めていけばいいのかという道筋が少し知れた気がしました。
3	知識を教えるだけではこれからの大学教育の価値が低下していくと感じました。変化の激しい社会の中で大学教育はどこに向かうべきか、自分のなかで考えを深めていきたいと考えました。
4	アクティブラーニングの導入を積極的に考えるようになった。
5	日本人学生と留学生で大学教育というものに対する意識の違いがある様子や、現在の講義について他の生徒が考えている課題について理解を深めることができ、新たな視点を得ることができた。
6	特になし
7	決まった対応策があるのではなく、対象や学習内容によって対応の仕方は変わるのだということ。
8	学生の力量の把握と、大学の教育目標の把握が重要であると感じた。
9	まずまず、教えてみたくまりました。学んだことを活かしたいです。
10	AL部会に参加しましたが、教育学研究科以外の院生は、ALとは何かということをほとんど理解されていなかったことがわかった。将来、教壇に立つ院生がALや大学で教える意義について学ぶ機会の重要性を改めて感じた。
11	大学教育に求められていることが大きく変化していることを理解できた。
12	入り口 (入学者のレベルや多様性) と出口 (企業などが求める資質) を踏まえた上で、どのように教育プログラムを考えていくか、という視点が私にとっては新しくなりました。また、必要な知識を深く教える必要はなく、いかに学生に関心を持ってもらうか、そこで教えた本質を自然と学べるようなカリキュラムを考えるかということが大事だと考えるようになりました。
13	アクティブラーニングをどう評価するのかわからない議論をAL部会でもラップアップの際にも議論でき、評価をととても難しいと感じているということがわかった。
14	Yes, I was surprised hear that in many majors, AL is not common.
15	特になし。
16	受講前よりも、大学での授業を作り上げるというのは面白そうだな、と変化しました。
17	多様性の観点の他、他の部会とのラップアップで、大学教育の問題意識はさらに深まった。
18	大学 (が求めるもの) に多様性があることは認識していませんでした。社会が変化中、大学が置かれている状況も、学生の志望も変化が現れているなか、それらをどうすり合わせ、「民主主義社会を支える」ことを学ぶ場に行けるかが問われていると考えました。
19	自分が関心を持っていた多様性 (出身国や性別) に加えて、学習レベルの多様性とそれをどう克服するかについて考えを深められた。
20	「所属大学によってserveすべき授業が変わる」という点は全く意識したことがなかったため、今後どのような生徒を持たされてもある程度彼らに寄り添った授業をしようという意識変革の機会になった。
21	変化した。大学教育における多様性について他の分野の方の視点から見て、必ずしも教育方法や教育理論を用いて解決するわけではないことが気づきました。多様性への対応という課題は全学的な知恵をあげる必要があります。
22	大学の状況 (大学の方針・学生の傾向・スタッフの意見) の違いを理解して、意識して利用していくことが大事なのだと思うようになった。
23	変化した。大学の講義をつくるのがどれだけ奥深いかを、改めて実感できました。誠にありがとうございます。
24	学生目線でデザインすることを意識しようと思った。
25	専門知識が高い専攻でしたが、それをどのようにわかりやすく伝えるかをより意識するようになりました。
26	学生に対して以下に興味を持ってもらうように工夫できるかをより考えられるようになった
27	同じモチベーションのある人とつながることができてよかったです。特に学生との双方向のコミュニケーションの大切さや目標設定の重要さ、軸のブレなさという点は意識が変化したと思います。
28	特になし
29	立体的にコーディネートすることで興味や理解が広がることで楽しく参加することが分かった。
30	教員側の目線だけでなく、学生目線でも教育を考えていきたいと思った
31	生徒のレベルに合わせて、生徒の関心を引く努力をすることをもっと真剣に考える必要があると理解できた。様々な工夫のアイデアをもらえた。
32	学生が多様になっている分、より練られた授業が必要だと思った
33	大学の講座をデザインする大変さは想像していたが、実際に組み立ててみると、さらに大変でありながら、楽しい過程でもあったと感じた。自分にしかできない授業、というキーワードが響いた。私が大学の頃とは異なり、アクティブラーニングの要素は必須だと感じた。
34	「大学」と一口言っても、それぞれの位置づけがあり、それぞれその独自性を出してほしいということについて、改めて理解しました。田中先生の事例がその代表例で、感服しております。
35	京大だけの事例が冒頭平島理事から提起されました。実際、京大に限らず、日本全国の国公立・私立でどのように大学教育が変わってきているのか、結局のところ学生と先生という二者関係はオンラインの時代も経てどのように変容するのかといったところをふと考えました。
36	なし
37	1. シラバス作成を通して、明確な指針を持って一つの科目を組み立てる意識が高まりました。正直、これまでいきあたりばったりだったなあ、と反省しています。
38	None
39	Yes, especially related to assessment
40	none
41	Yes, I got to understand many new things like thinking from students perspective while designing a course. I also understood how knowledge of students cultural background can help in effective communication in class.
42	Yes, it teach me how to overcome the culture differences in teaching at university, especially communicate with Japanese collages or students.
43	Still further discussion on how to handle with Japanese culture of shyness is needed
44	I can't say that this course changed my views on university education in a profound way. However, it gave me more vocabulary and more in-depth concepts about the aspects of university level teaching, that I had been thinking before, but did not really have tools for.
45	The workshop made me understand the Japanese students more. I also learned how to get feedback (e.g. comment sheet, ICT). Overall, it made me aware that teaching methodology and assessment should adapt to the culture of the students.
46	This workshop introduced me to new ideas for interactive lessons and new strategies for teaching university students, especially Japanese students.
47	I learned how and why Japanese students behave in a classroom, and how to create an environment in which they will participate more. I learned that it's not always because of culture that Japanese students talk less in class, but that participation also depends on the way the class is taken and how well-equipped the students are.
48	Assessments I have experienced are only the final exam but knowing other choices for the assessment is very good.
49	Yes. 1) To deliver a course that helps to expand the applicability and diversity of the knowledge, which helps students to be more creative and widen perspectives. 2) To deal with Japanese students the instructor needs to create an environment such that they do not feel uncomfortable expressing themselves very actively.
50	I got more information on how to handle Japanese students and want to learn it more to design a better course in the future.

(抜粋)

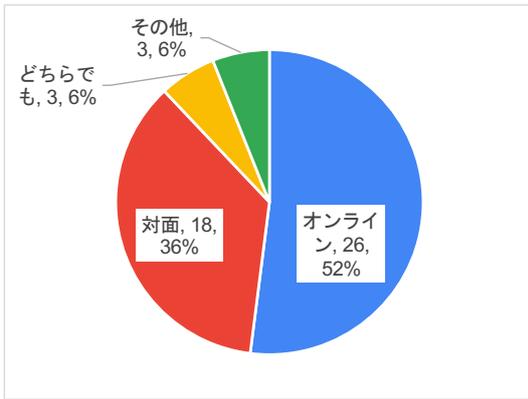
授業をどう進めるべきか道筋が知れた気がする (#2) /日本人学生と留学生とで大学教育に対する意識の差があることを知れた (#5) /学生の力量と大学の教育目標の把握の重要性 (#8) /入口と出口、本質的な問い (#12) /ラップアップを介して問題意識を深められた (#17) /大学が求めるもの多様性の存在 (#18) /多様性の重要性/学生目線での授業デザイン (#24) /授業デザインの大変さと楽しさ、ALは必須 (#33) /コースデザイン時の学生の視点並びに学生の文化的背景 (#41) /どうフィードバックを得られるか (#45)

Q. 6 他にどんな取り組みがあると良いかに関する回答の一覧 (自由記述)

Q6. 本講座のような大学院生を対象とした取り組みについて、他にどんな取り組みがあるとよいと思いますか。具体的にご意見をお聞かせください。
1 特になし
2 アカデミアでの就職を目指す学生同士の交流の場、また、高等教育院のかたのお話が聞ける場があればぜひ参加してみたいです。
3 ラップアップで英語を話せてよかったです。スピーキングの練習も使用と思うきっかけになりました、
4 特になし
5 一般の講義とその他 (アクティブラーニング重視等) のコマの割り振りや、逆に共通している点など、基本的な部分を知ることができる大学講義の基礎知識講座があるとよいと思う。
6 特になし
7 特になし
8 特になし
9 例えば、午前中に学習したアクティブラーニングを、自分なりに工夫し、実際に取り入れて午後模擬授業
10 高等教育研究開発推進センターが主催すべきではないと思いますが、他の研究科の方々と交流できるオフィシャル (京大公認) の場があるとありがたいです。他の学部の人と交流してみると、自分の考えが洗練される気がしました。。
11 教員を目指す者へのサポート。今回のような講座を、テーマをアップデートしながら続けていただきたい。博士号取得された方の体験談等を聞ける場など。研究の進め方等のアドバイスを得たい。
12 このような機会が授業以外にも何度かコンスタントにあるとありがたいです。
13 授業の評価の方法なども学べると嬉しい。授業の方法などは学ぶ機会やディスカッションする機会は増えてきたが、評価に関してはまだまだ少なく、難しい問題だと思ったため。
14 Diversity. I think Japanese society is homogenous and it would be nice to be more aware.
15 教育専門家の意見ももっと聞きたいです。
16 今回とても良かったので、同テーマでもっと具体的にプチ実践活動を含むようなプログラムがあったら参加したいと思います。
17 特になし
18 例えば、持続可能な社会に向けて研究者の貢献できることについてなど、社会が共通して取り組むべき課題に関する、学際的な意見交換の場があるとよいと思います。今回、医学研究科の留学生の方とグループになりましたが、普段知り合えない専門の方なのでおもしろかったです。
19 特になし
20 需要があるかは分からないが、模擬授業などがあるとよいかも知れない。
21 実際の授業方法や授業デザインのノウハウを教えること
22 特になし
23 実際に学部生などを対象に、授業の成果を活用できる機会 (実際に学部生に対して講義をする機会) を作っていただきたいと思いました。
24 特になし
25 特になし。
26 博士進学予定の修士学生のみを対象にした取り組み、博士の生活やその先を他分野の方と話し合いたい
27 一つの授業 (単位) として、大学で教えるとはどういうことか、があればいいと思いました。
28 特になし。Advanceコースにも参加予定です。
29 特になし
30 とくになし
31 公募への応募プロセスやなど、研究者としての就活講座
32 コロナの状況が続いているので、他分野の学生と協働する機会が視野を広げられる観点であるありがたいです
33 学問も研究も、健康が土台だと思う。医学研究科や医学部だけでなく、全学を通じヘルスリテラシーを向上するような講座があると良いと思う。
34 特になし
35 オンライン授業のやり方 (どのようなテクノロジーを使って学習意欲や工夫を高めることができるのか)
36 研究計画やキャリアデザインについて
37 特になし
38 None
39 Conducting job search, with an English section, would be very useful for me
40 nonr
41 None
42 Working opportunity in University or skills that need to be prepared if you want to continue your career in faculty.
43 yes, good opportunity to know more about Japanese
44 Further trainings about university level teaching are welcome, in particularly a one about the Japanese academic job market, employment routes and strategies for PhD level non-Japanese students.
45 Finding academic/teaching positions would be very helpful as well.
46 Discussing how to secure a university assistant professor position and postdoc.
47 More workshops like these would be great, maybe with more in class tasks
48 Without learning, people can basically demonstrate what they have experienced. In this lecture, I found the professors keep learning new techniques to improve their lectures. I now feel I also want to keep catching up the technology and tips for teaching.
49 More specific training to improve teaching to bring out academic leaders who can satisfy the growing needs of the world.
50 None

出てきた要望：学生同士の交流の場 (#2 他) /座学→模擬授業を1日で実施する (#9) /継続的な講習会 (#12 他) /評価に関する講習会 (#13) /社会課題に関する学際的な意見交換の場 (#18) /ヘルスリテラシーの向上の場 (#33) /キャリアデザインに関するもの・英語セクションも (#36, 39) /よりspecificなトレーニングの場 (#49)

Q. 7 オンラインか対面かに関する要望（選択式）



「その他」の回答（自由記述）：

- ・一長一短だと思う。
- ・講義の部分はオンデマンドで先に予習して、実際に部会において体系立てて議論する際には対面・オンラインいずれかの良さを有効活用するのがいいのかもしれない。
- ・I choose both, if the pandemic situation lower , face to face is preferred.

Q. 8 Q.7の回答の理由（自由記述・回答種別でソート）

回答種別	理由
オ	Q8. Q.7について、そう答えた理由をお聞かせください。
オ	気軽に、かつ遠隔地から参加できるので
オ	対面であれば、移動時間も考慮する必要があるため、参加のハードルが上がることが多いかなと感じます。
オ	フィールド調査などで対面で参加できない場合でも受講できるから。
オ	受講をするのが比較的容易になるから。
オ	隔地キャンパス（霊長類研究所）の所属学生にも、学びの機会を与えるべきである。
オ	コロナのリスク低減のため
オ	（AL部会の観点から）ALを展開する上で、ICTを用いることは重要であり、実際に電子デバイスを用いて議論したり、発表資料を作成したりといった経験は、将来、教壇に立つ際にALに挑戦するハードルを下げさせてくれるのではと感じたから。
オ	東京在住の社会人大学生（会社員）のため、必修講座以外で京都へ行くことが難しい。参加者の多様性をキープする上でオンラインは大事だと思います。
オ	もし同じ時期に開催するのであれば、夏休みはフィールド調査に行くことも多いので、オンラインで開催していただければどこからでも参加できるので、とてもありがたいです。
オ	例えば、帰省などしていても参加できるのでありがたいです。
オ	PowerPoint等を使った発表がオンラインの方がしやすいから
オ	現在、研究で海外に滞在しています。時差がありますが、それでも参加が可能になったのは、オンラインだからです。また、私は子どもがいますので、自宅で参加できるオンラインは非常にありがたいです。もし海外にいなかったとしても、一日対面であったら、子どもが夏休みの今、参加できませんでした。多様性部会でも話し合いましたが、多様なライフステージや生活状況にある学生の参加が担保できるよう、オンライン、あるいはハイブリッドでの開始をお願いしたいです。
オ	自宅・出張先からでも参加できるのは非常に助かるので。
オ	記録や共有がしやすいです。
オ	オンライン会議の方が、非常に参加しやすいからです。
オ	参加しやすいため。
オ	利便性のため
オ	移動時間を節約して参加できるから 参加するハードルが下がり機会が増える
オ	対面には対面の良さがあると思うが、オンライン化がどんどん進む中、オンラインでどのように伝えたいことを伝えるのか、ということについても、講座を通じ学べることが多かった。
オ	便利
オ	遠距離からでも参加できるため。
オ	Covid19 situation is severe
オ	Its more comfortable for attending the workshop even if we are not in Kyoto. Also we don't have to miss our lab activities.
オ	I prefer online because I feel shy to participate in face-to-face discussions, as well as online sessions are easier and more accessible, especially since I do not live on or close to the university campus.
オ	I felt less pressurized and was more comfortable to participate in discussions
オ	PhD students are busy for experiments or calculations.
対	オンラインにも利点はありますが、やはり対面の方がコミュニケーションがスムーズかなと思います。また、オンラインは目が疲れてしまうので個人的には対面を希望します。
対	対面の方がディスカッションしやすい。オンラインでは通信不良、発言が被るなどして、ディスカッションが滞ることがあった。
対	個人的な理由で恐縮ですが、今回オンラインで学ばせていただいたので、対面での議論やグループワークで学ぶ機会もいただけたらと思った次第です。
対	more connection but online is convenient. I joined from the US today.
対	実際に会って話したいです。時間の制限もそんなに厳しくないです。
対	オンラインのグループワークが大変。重複して発現できないことや、いちいち画面共有を切り替えることに面倒がある。
対	より友達を作りやすいと思いました。
対	相手の様子を見ながら話し合いを進めたかったから
対	オンラインだと発言量が減少してしまうため
対	グループワークが多いので、対面のほうがコミュニケーションや関係性の構築がしやすいため
対	新たに知り合えたもの同士で仲を深めることが難しいから。
対	It favors active learning
対	I think it would have helped the discussion
対	Lost focus sometimes
対	Online is more tiring and it is easier to network if an even is face-to-face
対	Another benefit of this kind of program is that it serves as a potential networking opportunity for the participants. If the situation permits it, I prefer to have it face-to-face. Online is convenient, but it does not provide the random discussion between breaks between participants and even senseis.
対	Face-to-face is more interactive and expressive.
対	It will be more active if face to face.
ど	対面でもオンラインでも、意見交換できれば構わない。どちらの方がやりやすいか、参加しやすいかはその時々参加者の状況に依るため、なんとも言えない。ただ、オンラインの方が、遠隔にいても参加しやすい点は、ポジティブに評価してよいと思う。
ど	それぞれで利点があるから。（今回はオンラインだから参加できました）
ど	それぞれの利点と欠点があると考えます。
他	Due to the covid, online is the best way for communication. but if the situation get better, face to face would create direct engagement and real time communication skill
他	アメリカに留学中の参加者から、その経験を生かした議論ができたのは良かった。
他	どうしても人となりが見えづらく、グループワークにおいて打ち解けるのにやや時間がかかるのと、ファシリテーターに気軽にヘルプを求めることがやや難しく感じた。
他	より議論の時間を持たせるためには、講義の部分を効果的に学習する仕組みも必要だと感じたから。特に講義はどうしても一回性の学習になってしまうため、人によってはより繰り返しの学習も必要だと感じたから。

(オ) 遠隔でも／移動時間／記録・共有がしやすい／対面で議論するのは気恥ずかしい

(対) 目が疲れる／通信不良、発言が被るなどで話しづらい

Q.9 その他要望（自由記述、回答数：33）

	Q9. その他に、ご意見（良かった点や悪かった点、改善点等）がありましたらお聞かせください。
3	本日は、色々ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。参加させていただき感謝しております。
4	部会内部でのグループ討議について、使用するものをある程度指定してほしい。また、各グループが作成した資料を共有できるような仕組みがあるとよかった。（文字資料がある方が、質疑応答がしやすいように感じたため）
5	最後のラップアップでの交流が一番発見が多かったので、あと数分長いと最後まで心置きなく話せて良いと思う。
7	他の部会の取り組みも気になったので、他の部会に参加する機会もあるといいと思った。
8	全体的に、グループワークが放任気味であると感じた。しかし、修士以上の学生を対象としていることで、議論は捗ったので問題はなかった。ラップアップは、改善の余地がある。英語での共有のハードルは学生個人の力量にかなり依存しており、英語で話すことに時間がとられて内容の共有が十分になされなかったと感じる。もったいないと感じた。苦手でも英語で2、3言語話してくださいとあったが、留学生を含むグループワークでその扱いはあまりにも失礼ではないか。無理のあるラップアップであったと感じた。
9	もう少し、論理も学びたかったです。また他の部会の話しも聞きたかったです。しかし、全体的に勉強になりました。
10	最後のラップアップを英語でやることを事前に伝えてもらえると、各部会で資料（パワポなど）を作る際に、英語を用いたり、図を多くしたりするなどの工夫ができたかなと思います。
11	ありがとうございます。一度参加した者も、次回以降も参加できるようにしていただけるとありがたいです。
12	事前にプログラムを丁寧に共有していただきましたお陰で、オンラインでも戸惑うことや抵抗なくスムーズに参加することができました。ありがとうございます。
13	ICT部会が今回は人数が少なく開講されなくて残念でしたが、AL部会でもICTを活用した授業の話が出てきて、とても興味深く学びました。ラップアップで、別の部会に参加した人とさらに議論をできたのもよかったですと思います。私の場合、授業の評価という点に関して、難しいと感じている人が集まり、いろんな部会に参加した視点からさらに議論できたのは面白かったです。時間も短く感じましたが、ちょうどよかったと思います。
15	教育専門家の視点をもっと聞きたいです。教育についていろいろ勉強したいので参加しましたが、グループ議論の時でもあまり教育系の人と話なかったのは残念だと思います。
16	どの部会も興味深いテーマなので、2日間くらいにして全ての部会に参加できると良かったですと思います。
20	今回助教にたまたま教えられて参加したが良い機会だった。広報時に「参加者の声」等の欄があるとハードルが下がるかもしれないと感じた。
21	アイスブレイクを組み入れていただければありがたいです。
22	短い時間で効率よく議論するために、事前課題を事前に共有したり、議題を設定するまでは構造化されたグループワークにするといったことが考えられます。また、今議論すべきことや、関連する資料がスムーズに提示されるとありがたいです。
23	田中先生の講義と、グループ討議は特に有益でした。誠にありがとうございました。最後のラップアップについても勉強になりましたが、長時間のグループ討議でやや疲れ気味でしたので、情報共有は各グループの講師の先生にいただき、もう少しコンパクトにまとめてもよいと思いました。
25	ラップアップの時間をもう少し長くしてほしいです。
26	miroの利用で、他グループの様子を見ながら議論を進められたのは良かったです。
27	ご多用のなか、運営ありがとうございます。最後のラップアップ、英語だと知らなくても英語勉強して伝えられるようにならねばと思いました。英語を母国語の方を置いてけぼりにしてしまっただけです。
29	時間があっという間でした。ありがとうございます。
30	ラップアップの議論の方向付けがあまりなかったので少し戸惑った（とくに意見が出ない場合はこうしてみる、とかいう例が事前に共有されていたほうがよかったと思う。）
31	ラップアップは当然英語で、という感じの流れになったので、心の準備が欲しかった。英語優先という風に事前に決まっていたらもう少し落ち着けた。田中先生の、男性が美少女キャラのアバターを用いて授業するという話は、倫理的に問題があると思った。マジョリティである男性が、マイノリティである女性の表象を道具的に流用すべきではない。
33	参加する前は、自分がついていけるか心配でしたが、同じ志を持つ参加者との交流は大変楽しく刺激となりました。なかなか学校に足を運べない中、普段の授業とは異なる雰囲気でのワイワイ議論できたことがとても楽しく豊かな時間でした。京都大学ではこのように、講座づくりの形の基本を教えていただきながら、守破離によって、オリジナリティを出していかれているから、学びが面白い知の拠点となっているのかと想像しました。
34	最後のラップアップで、英語が公用語になりましたが、それまで日本語で交流していたので、いきなりの言語転換で時間的・心理的に適応できなかった側面がありました。
39	I think the workshop could have been a bit shorter and more streamlined
42	It is nice to have the session. more presentation from different experienced teacher would be nice. And more role play or group work to applied the theory would be nice. Thank you
43	I like the discussion on Japanese cultures in university
44	Very well organised!
45	Maybe some students would be interested in a 2- or 3-day workshop if given the opportunity. I really learned a lot from this short workshop and I think there are more things that could be learned if there is enough time.
46	I enjoyed the small interactive group sessions in my group. I would love to see more workshops that are accessible for non-Japanese speaking people.
48	The second short lecture was very impressive. We also have a conventional lecture only using a textbook and a blackboard in my department. The lecture motivates me to start thinking how to update the lecture style in my department.
50	In the wrap-up session, my group did not have student from group B only from group A, C, and D. I think it is better to have every group member in the wrap-up session to share what they have learned.

- ・各グループが作成した資料を共有できる仕組みがあるとよかった（#4）
- ・最後のラップアップの時間をもう少し長く（#5、25）
- ・ラップアップで英語を使用することをあらかじめ教えて欲しかった（#10、34）
- ・2日間くらいにして、全ての部会に参加できるようにする（#16）
- ・広報時に「参加者の声」があると参加のハードルが下がる（#20）
- ・ラップアップの議論の方向づけがあるとよかった（#30）
- ・理論を応用する機会をもう少し（#42）
- ・とてもよく構成・組織されていた（#44）
- ・非日本語話者も参加可能なワークショップを他にも（#46）
- ・ミニ講義2は、所属する研究科の授業をどうアップデートできるか考えるきっかけとなった（#48）